

平成18年度社会福祉法人白鷹福祉会決算状況

一般会計 白鷹福祉会合算
(本部・白光園・白光園DSC・はっぴーDSC・白鷹陽光学園)

貸借対照表

(平成19年3月31日現在)

(単位:千円)

資産の部		負債及び純資産の部	
流動資産	542,141	流動負債	51,752
固定資産	2,821,331	固定負債	223,506
		負債の部合計	275,258
		基本金	700
		国庫補助金等特別積立金	1,939,812
		その他の積立金	468,700
		次期繰越活動収支差額	679,002
		純資産の部合計	3,088,214
資産の部合計	3,363,472	負債及び純資産の部合計	3,363,472

事業活動収支計算書

(自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)

事業活動支出	1,088,882	事業活動収入	1,208,131
事業活動外支出	13,923	事業活動外収入	14,251
特別支出	71,364	特別収入	70,246
計	1,174,169	計	1,292,628

当期繰越活動収支差額計	118,459
前期繰越活動収支差額	660,543
その他の積立金積立額	100,000
次期繰越活動収支差額	679,002

※詳細は法人事務所において閲覧等の方法により開示します。

厨房速報!!

温冷配膳車が導入されました。

配膳車で「保温」と「保冷」ができ、今まで以上においしい食事が提供できるようになりました。

①まずは、お盆の準備
食札、はし・スプーンをセッティング

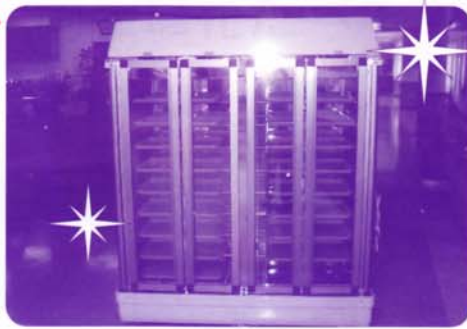
「保冷」は8度に設定
デザートもひんやりおいしい

スイッチON!!

「保温」は季節に合わせて65度～55度に設定
おかげでホカホカ…♡

さらに…スチームコンベクションが
新しくなりました。

魚の焼加減も最高!!



お盆も「温」と「冷」に仕切られ、すこし大きくなりました。

②配膳は奥から順番に…



あつたがくて
うまいごどお



ほだなあ～



③それぞれの通りに
配膳車ごと移動



仲町福祉の里推進会議 会長

横

寅男

白光園は地域の仲間

白光園は地域にある福祉施設であり、花植や、草むしり、清掃、慰問、寿まつり手伝い、樹木の雪囲い、雪囲いはずし等のボランティア活動を実施し、又非常災害時の救援体制として、災害救援協力隊を結成し、避難訓練に参加しております。相互の交流としては、夫々の行事である寿まつり、敬老会、福祉祭りに参加し、お互いの理解を深め、親睦をはかつております。地域福祉の時代と云われる今、地域のつながりの重要性を痛感します。災害時にも、地域の連携が大きな力となり、被害を最小限に食い止めたなど報道されますが、社会的にも人間関係が稀薄と云われる中、難しい事ですが最も大切なことと考えます。

昭和五十八年九月、西置賜福祉事務所より仲町地区に、福祉調査の依頼があり五十八年、五十九年と二年間のモデル地区の指定を受け、この調査が契機となり仲町福祉の里の実現をみることにになりました。福祉の里の組織づくりについては、いろいろ検討し、組織の競合をさけるため、荒砥第三区(現仲町区)、仲町公民館、仲町担当民生委員は協同体との見地から、名称を「仲町福祉の里推進会議」とし、五十九年九月設立されました。仲町福祉の里推進会議は「心豊かに誰もが住みたくなる仲町づくり」をスローガンに、広報活動、奉仕活動、福祉講座等の事業を実施しております。

仲町区も今年度より、自主防災組織作りを区の重点事業とし、区民の安全をどう守るか、又、白光園入園者の方々との関わり等も、考えなければならぬが、今年度は、地域の最も基礎となる隣組からの結束が、これからの自主防災活動には必須と思われまますので、隣組ごとの話し合いから、進めて行く考えであります。高齢化が加速し、社会構造の変化の顕著な中で、身近なところで、出来ることから実践し、助け合っていきたいものです。



仲町婦人部のみなさんによるボランティアの草取り。(白光園中庭)

るならば木当の幸せとは云えない、温かな心のふれあい、助け合い、福祉の心、福祉の精神こそ、これからの町づくりの重要な課題であると考えます。(仲町福祉の里運動のあゆみより)と挨拶されました。以来二十三年、この言葉を大切に、区民皆さんの協力のもと、住みよい町づくりのための、事業に取り組んでおります。